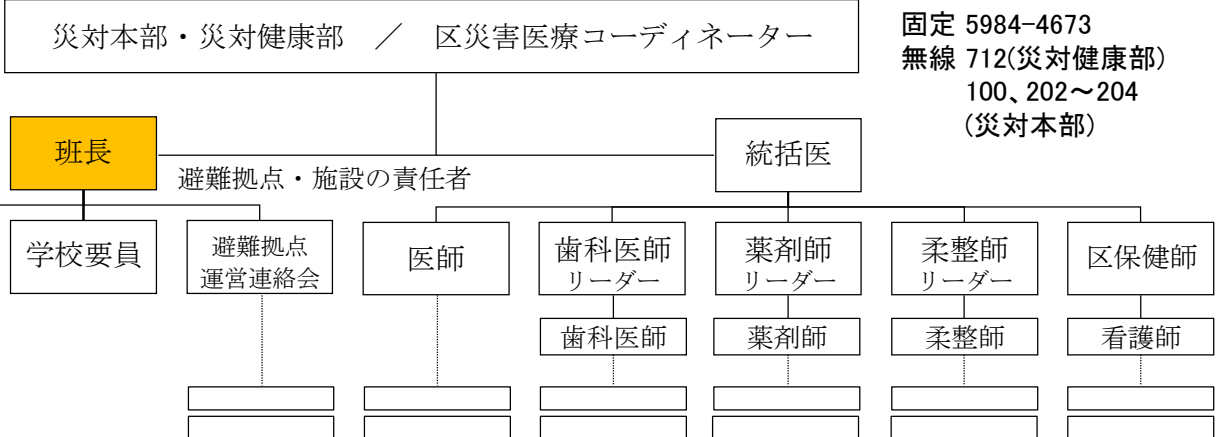


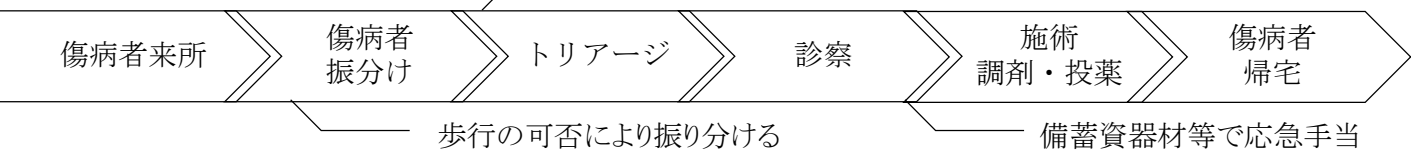
指揮命令系統図



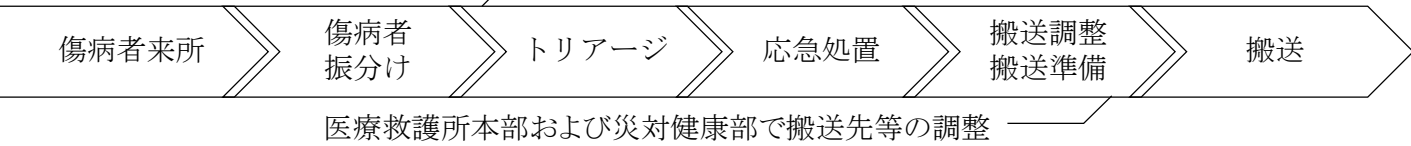
固定 5984-4673
無線 712(災対健康部)
100、202~204
(災対本部)

医療救護活動の流れ

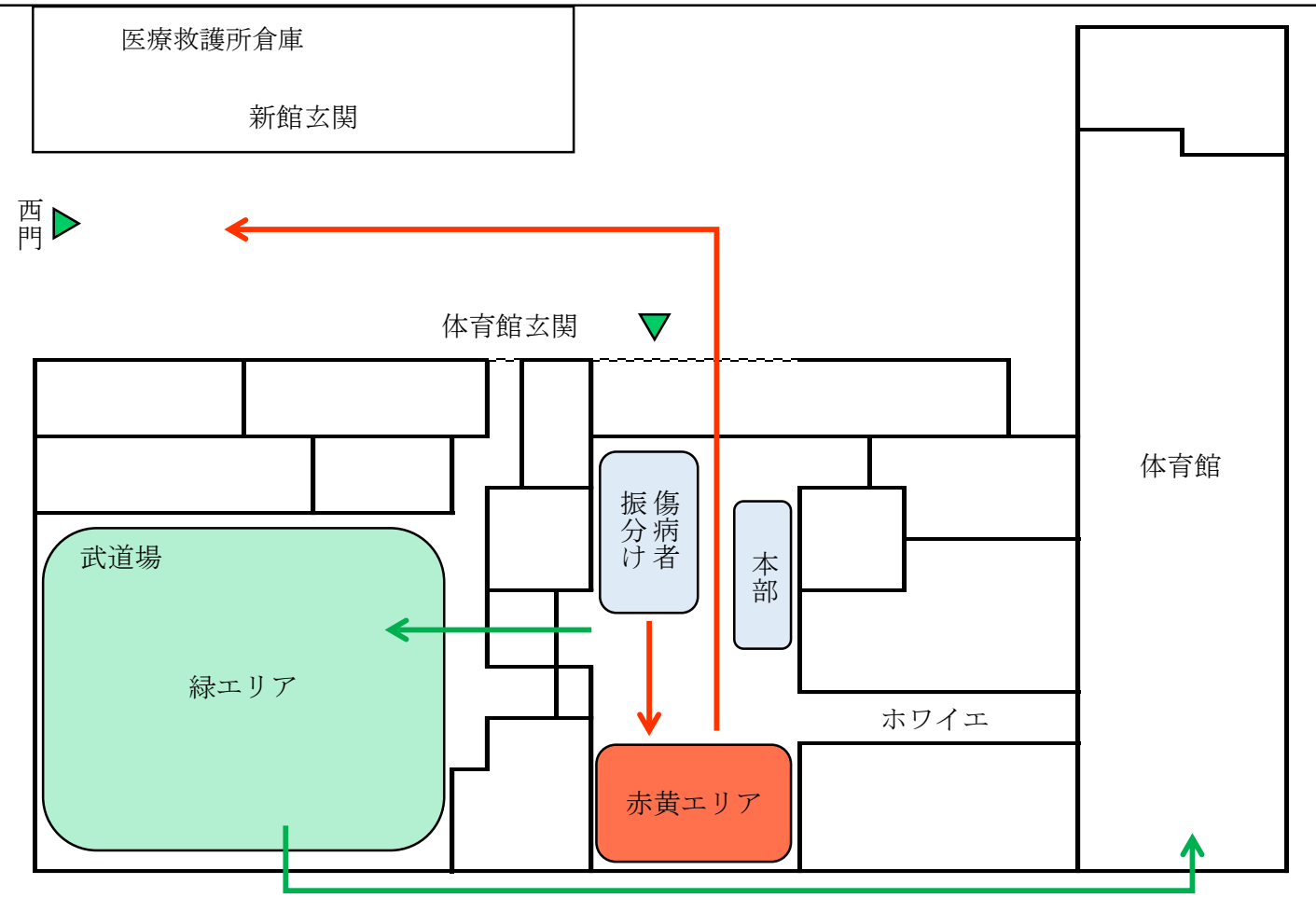
軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図



統括医

副校長【 】
 班長【 】
 保健師【 】

担当	活動場所	役割
医師	医療救護所本部 (体育館前ホワイエ)	医療救護活動における責任者

1. 大規模地震が発生！以下の事項を確認してください。

最大震度 () 震源地 () 発生時刻 ()

2. 四師会等の参集状況を確認してください。医療職の参集状況は、班長に報告してください。

医師会 : リーダー () 参集数計 () 名
 歯科医師会 : " () " () 名
 薬剤師会 : " () " () 名
 柔整師会 : " () " () 名
 看護師 : " (区保健師) " () 名

※ 看護師は、災害時に活動できるよう事前登録をしており、登録カードを提示することになっています。

3. 医療救護所の設営を班長とともに指示してください。

- 既に来所している傷病者に対して、処置を指示します。
- ビブスおよび腕章（リーダーのみ）の着用を指示します。
- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営を指示します。

必要物品	保管場所
医療資器材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、松葉杖、酸素ボンベ・減圧弁等、ビブス、トリアージタグ、エリア別表示、上皿天秤等薬剤関係、マスク・ポンチョ、簡易ベッド、ブルーシート	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
長机	体育館玄関横 (または校舎棟2階会議室)
パイプ椅子	体育館
ホワイトボード、マーカー	体育館前ホワイエ

注) 可能な限り武道場の畳は剥がし、端に積んでください。畳の上に机を置かないように配慮願います。

4. 役割分担を行います。

- ①統括医②トリアージ担当③重症者処置エリア担当④軽症者処置エリア担当⑤調剤・投薬所担当
 ※医師は①③④(②)、歯科医師は②④、薬剤師は②⑤(③④)、柔整師は②④、看護師は②③④に配置。
- アクションカードを各担当に渡してください。

5. 医療救護活動を管理してください。

- 医師の交替シフトの作成および他医療職へシフト作成を呼びかけます。(8時間/1名あたり)
- 各エリアの設営状況や患者動線を確認し、医療救護所の開設を決定します。
- 医療救護所本部で区要員にクロノロジーの作成とトリアージタグの回収を指示します。
- 医療救護所本部で傷病者の来所状況を把握します。
- 各処置エリアを巡回し、傷病者の特色に合わせて人員を差配します。
 (例：重症者が複数来所した場合は、軽症者処置エリアから重症者処置エリアへ人員を再配置する)
- 医師の人員が不足している場合は、自ら診療にあたります。
- 班長から得た情報を、必要に応じて各職種のリーダーに伝達します。
- 搬送が必要な傷病者が発生した場合、当該患者の状態とともに年齢や性別等の情報を災害対策健康部へ伝達し、搬送先および搬送手段の調整を依頼します。(防災無線は校舎棟2階の職員室)
- 必要に応じて、黒エリアを立ち上げ、人員を配置します。

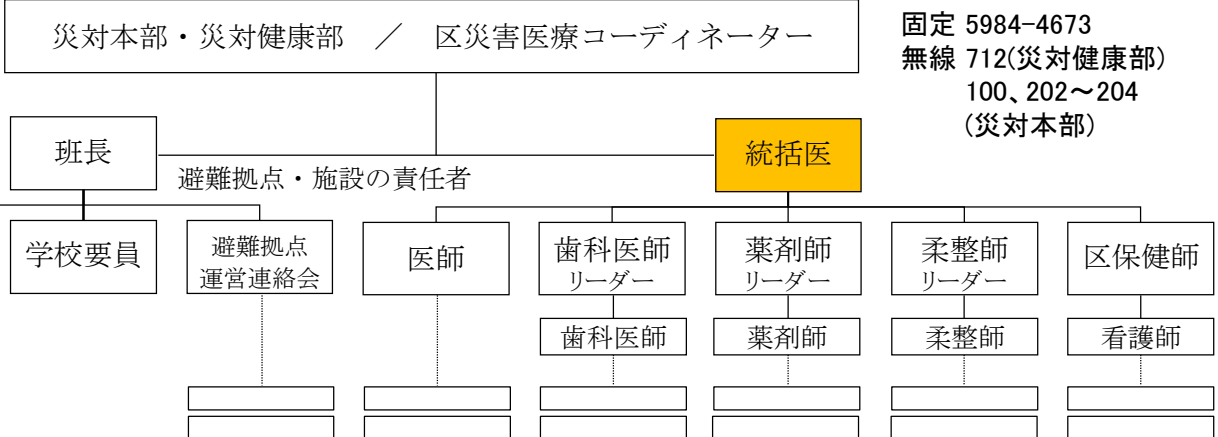
6. 次シフトの統括医に引き継ぎを行ってください。

- 各職種の交替要員の把握およびリーダーの確認をします。
- 傷病者の来所状況や各職種のリーダーを伝達します。

7. その他

- 不明瞭なことがあれば災対健康部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと。

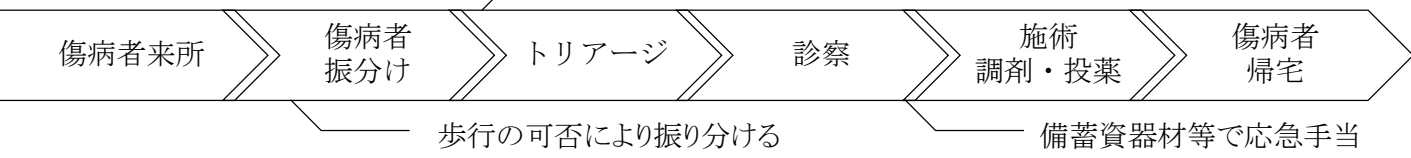
指揮命令系統図



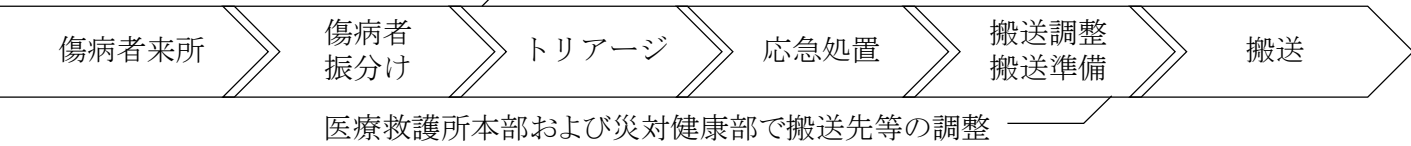
固定 5984-4673
無線 712(災対健康部)
100、202~204
(災対本部)

医療救護活動の流れ

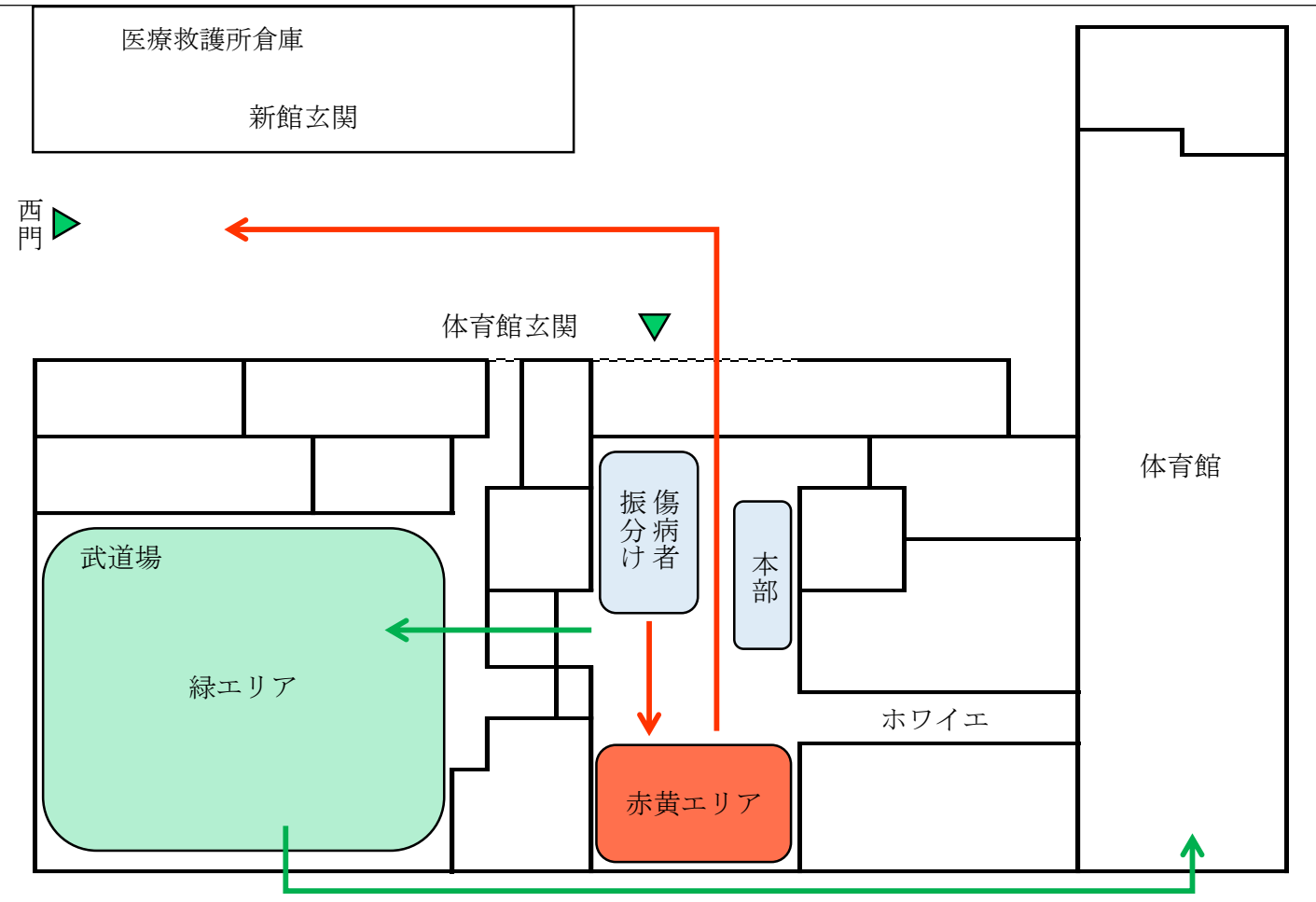
軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図



緑エリア（軽症処置）リーダー

副校長【
】
班長【
】
保健師【
】

Mission：軽症者の応急手当

担当	活動場所	役割
軽症者処置エリア の医療職から1名	軽症者処置エリア (武道場)	軽症者処置エリアの指揮者

1. 統括医からアクションカードを受け取ります。緑エリアの設営を指示してください。

- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営を指示します。

軽症者処置エリアは、次のブースを設置します。

①トリアージ ②診察 ③柔整師施術 ④調剤・投薬

※レイアウトについては、必要に応じて変更して構いません。

必要物品	保管場所
医療資器材、各種様式、マニュアル、松葉杖、ビブス、トリアージ タグ、エリア別表示、マスク・ポンチョ、ブルーシート	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
長机	体育館玄関横 (または校舎棟2階会議室)
パイプ椅子	体育館

注) 可能な限り武道場の畳は剥がし、端に積んでください。畳の上に机を置かないように配慮願います。

2. 自らの役割を果たしつつ、緑エリアの管理を行ってください。

- トリアージ、診察、柔整師施術、調剤・投薬のそれぞれの役割に人員を割り振ります。
医師ー診察 歯科医師ートリアージ (、診察) 薬剤師ー調剤・投薬 (、診察補助、トリアージ)
柔整師ー施術 (、トリアージ) 看護師ー診察補助 (、トリアージ)
- 統括医からの連絡を受け、適宜構成員に伝達します。

3. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行ってください。

- 各職種の交替要員の把握をします。
 活動中の注意点や懸念点を伝達します。

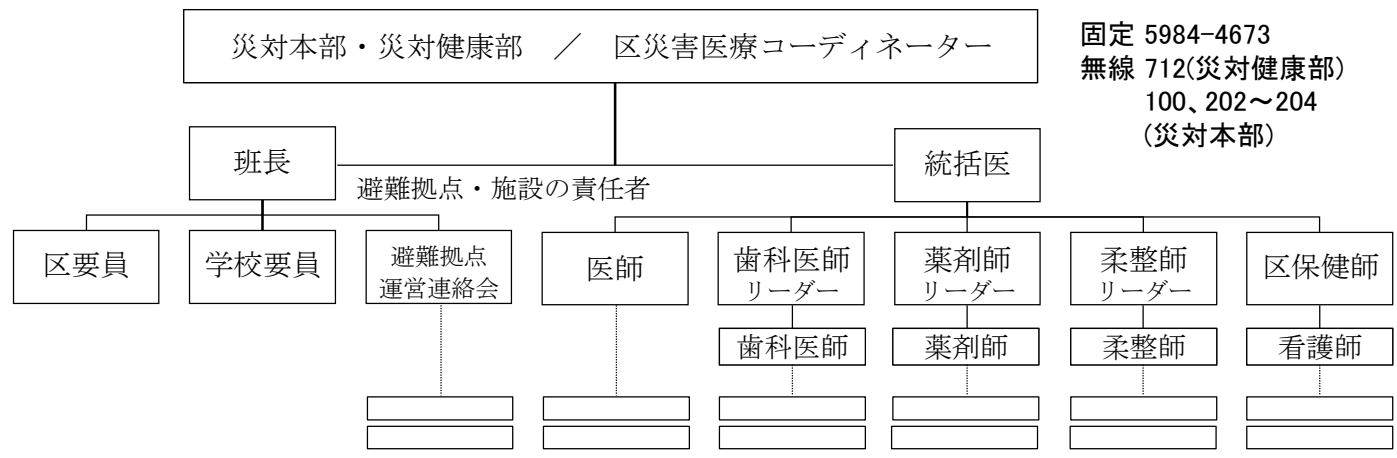
4. 注意事項

- 来所した傷病者は、トリアージを受ける前に、避難拠点運営連絡会（地域住民）等が、歩行の可否により振り分けます。トリアージ担当は、トリアージを行うとともに、患者情報や既往症等を聞き取り、タグを起票します。（氏名や住所等は、患者自身に記載していただいて構いません。）
- 災害診療記録は、必ず作成するようにしてください。
- トリアージタグは回収し、医療救護所本部で集計します。対応が完了した患者のタグは、本部の区要員が回収しやすい場所にまとめるようにしてください。
- レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更して構いません。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更してください。
- 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限してください。また、定期的に換気をしてください。

5. その他

- 不明瞭なことがあれば災対健康部より指示を仰ぐこと。

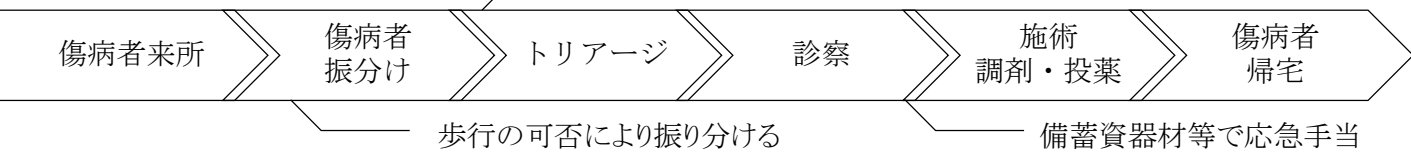
指揮命令系統図



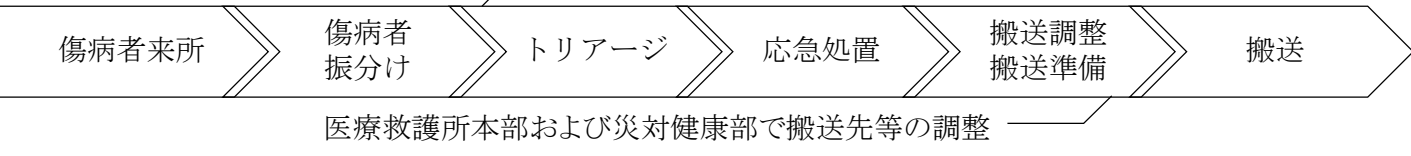
固定 5984-4673
無線 712(災対健康部)
100、202~204
(災対本部)

医療救護活動の流れ

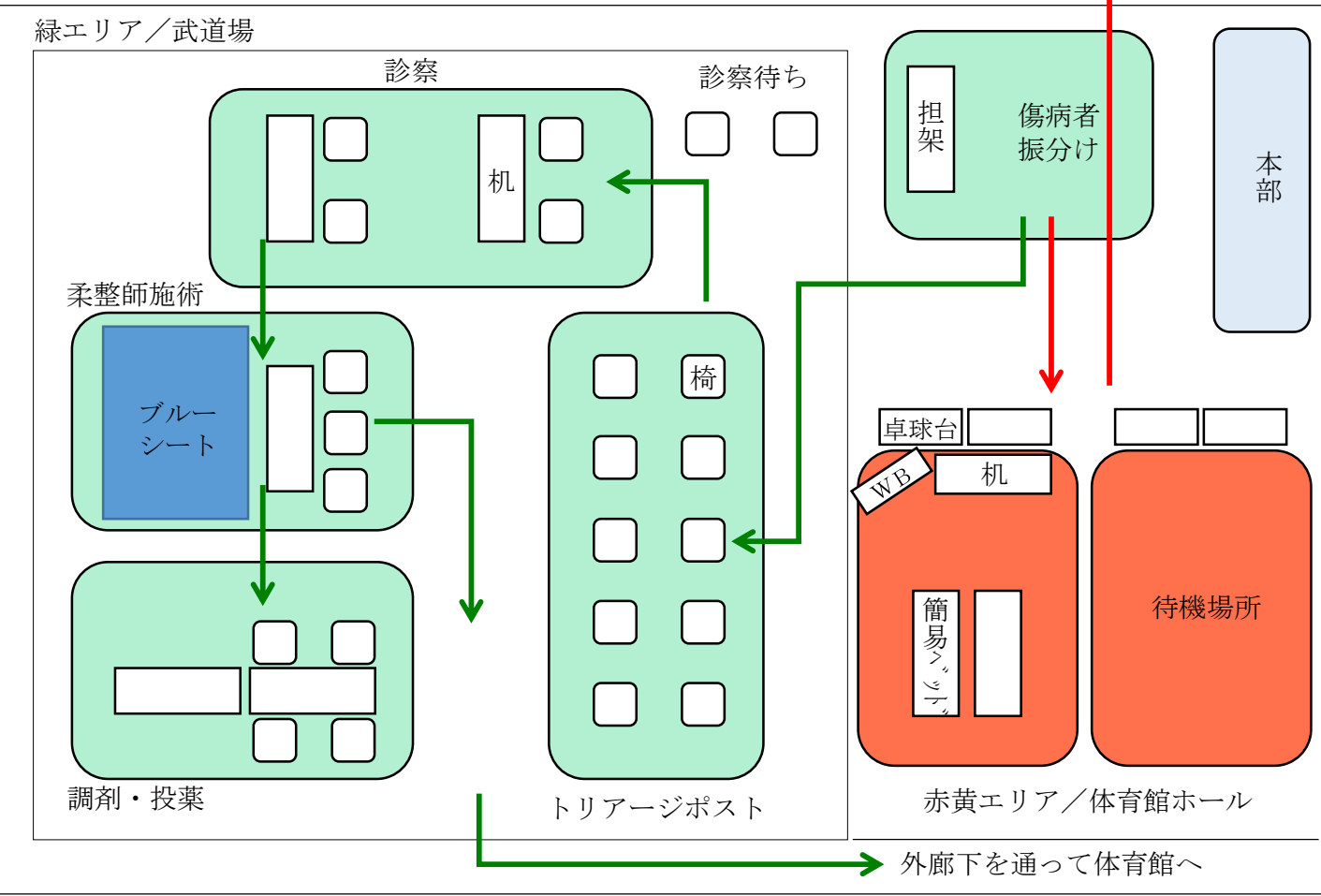
軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図



赤エリア（重症処置）リーダー

副校長【

班長【

保健師【

Mission：重・中等症者の応急処置・容体の安定化・搬送

担当	活動場所	役割
重症者処置エリアの医療職から1名	重症者処置エリア（体育館ホール）	重症者処置エリアの指揮者

1. 統括医からアクションカードを受け取ります。緑エリアの設営を指示してください。

- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営を指示します。

※レイアウトについては、必要に応じて変更しても構いません。

必要物品	保管場所
医療資器材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、酸素ボンベ・減圧弁等、ビブス、トリアージタグ、エリア別表示、マスク・ポンチョ、簡易ベッド、ブルーシート	医療救護所倉庫（新館玄関付近防災倉庫内）
長机	体育館玄関横（または校舎棟2階会議室）
パイプ椅子	体育館
ホワイトボード、マーカー	体育館前ホワイエ

2. 自らの役割を果たしつつ、赤エリアの管理を行ってください。

- 応急処置、医師補助、トリアージのそれぞれの役割に人員を割り振ります。
医師－応急処置 歯科医師－トリアージ（、医師補助） 薬剤師－トリアージ（、医師補助）
看護師－医師補助
- トリアージの報告を受け、応急手当または搬送の優先順位を決定します。
- 搬送が必要な負傷者の搬送調整依頼を統括医に行う、または指示します。
（近隣に災害拠点病院および災害拠点連携医療機関がある場合、担架で搬送する場合があります。）
- 統括医からの連絡を受け、適宜構成員に伝達します。

3. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行ってください。

- 各職種の交替要員の把握をします。
- 活動中の注意点や懸念点を伝達します。
- 統括医に代理のリーダーを報告します。

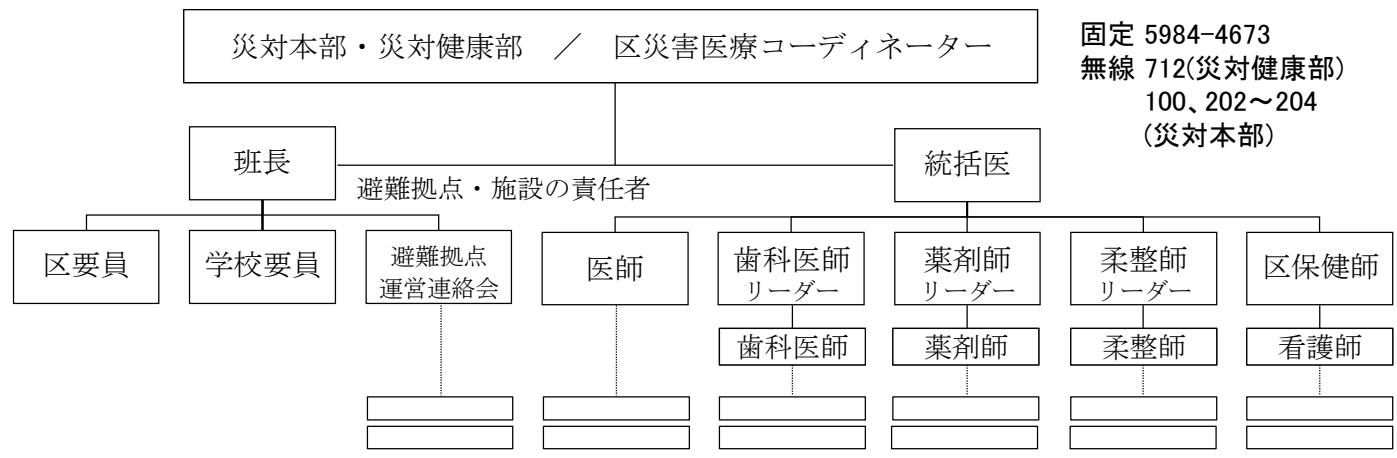
4. 注意事項

- 来所した傷病者は、トリアージを受ける前に、避難拠点運営連絡会（地域住民）等が、歩行の可否により振り分けます。トリアージでは、患者情報や既往症等の聞き取りを行い、タグを起票します。
- 災害診療記録は、必ず作成するようにしてください。
- トリアージタグは回収し、医療救護所本部で集計します。対応が完了した患者のタグは、本部の区要員が回収しやすい場所にまとめるようにしてください。
- 患者を搬送する際、トリアージタグは患者に装着したまま、搬送担当に引き継ぎます。
- レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更して構いません。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更してください。
- 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限してください。また、定期的に換気をしてください。

5. その他

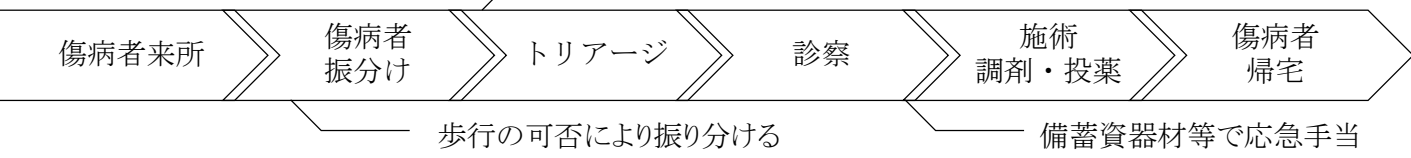
- 不明瞭なことがあれば災対健康部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと。

指揮命令系統図

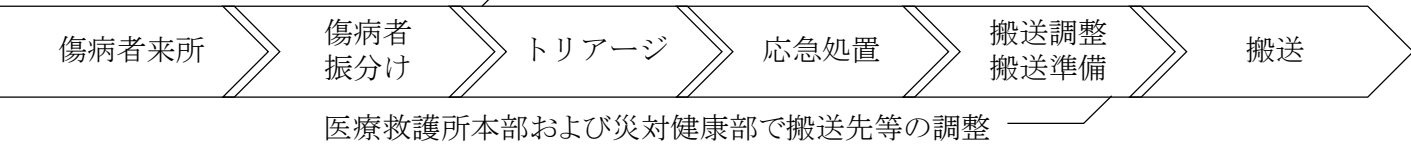


医療救護活動の流れ

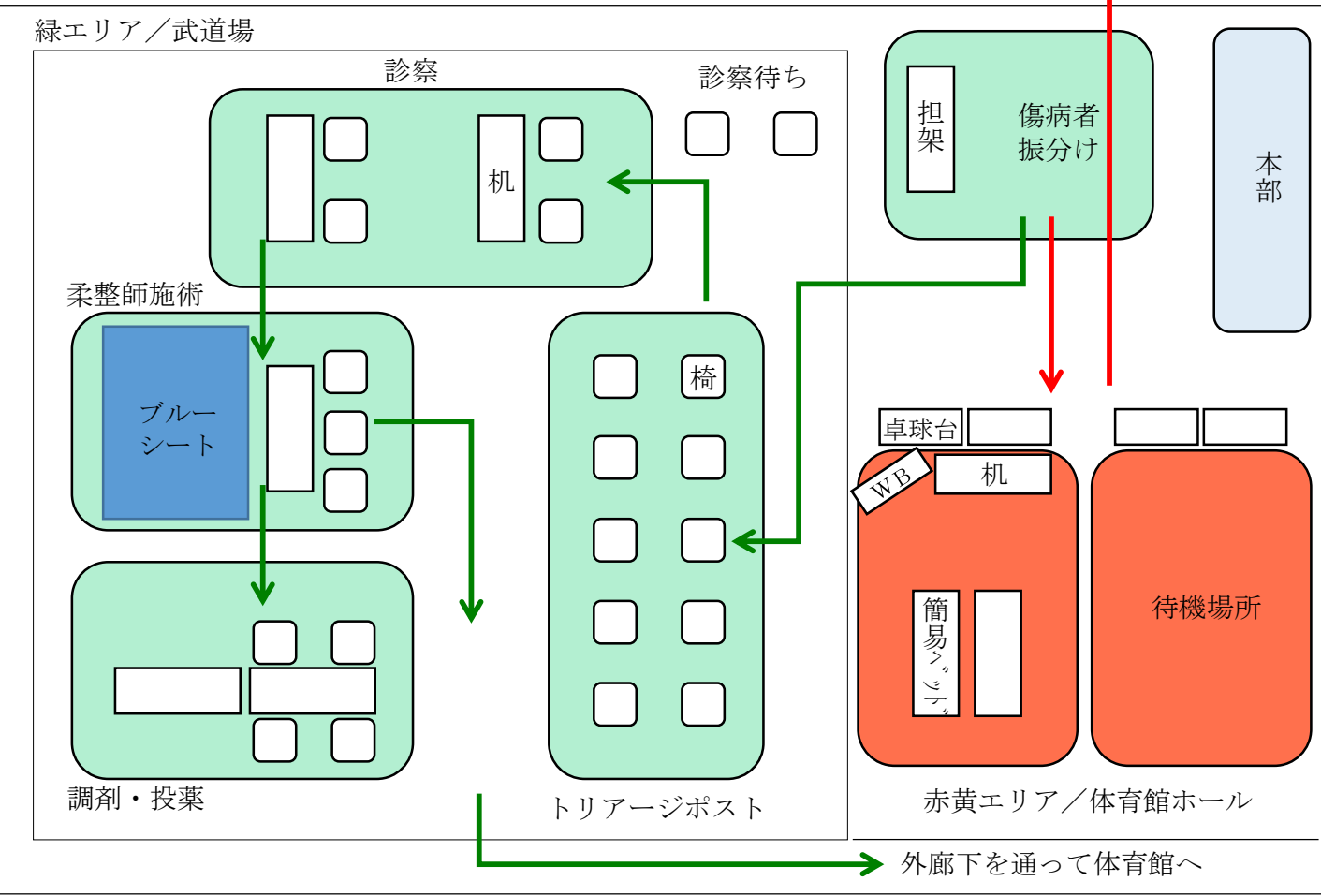
軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図



トリアージ担当

副校長【 】

班 長【 】

保健師【 】

Mission : タッグ起票、手当優先順位の決定、急変患者の赤エリア引き渡し

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (柔整師、看護師)	軽症者処置エリア (武道場)	トリアージ

1. 統括医からアクションカードを受け取ります。緑エリアの設営を行ってください。

裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営をします。

※レイアウトについては、必要に応じて変更しても構いません。

必要物品	保管場所
トリアージタッグ、ボールペン、エリア別表示	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
パイプ椅子	体育館

注) 可能な限り武道場の畳は剥がし、端に積んでください。畳の上に机を置かないように配慮願います。

2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行います。

注1) 複数行記載できるように、各記入欄の上部で記載するなど配慮すること。

注2) 誤記訂正は、二重線でを行います。

注3) 容態変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の下側スペースに追記します。

来場した傷病者を用意した椅子に座らせます。

2名ペアで順番にSTART法トリアージを行います。(1名はトリアージ、1名はタッグ記入)

① タッグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入します。

※トリアージを受けていない傷病者には、自分でトリアージタッグの氏名、年齢、性別、住所、電話番号欄を記入してもらって構いません。

② トリアージ実施月日・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入します。

③ トリアージ実施機関は、「練馬区救護班」と記入します。職種欄は、その他に○をし、そばに職種(歯科医師、薬剤師等)を記入します。

④ トリアージ区分(軽症はⅢ)は、必ず○印をつけてください。

最優先治療群(Ⅰ) : 重症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送します。

待機的治疗群(Ⅱ) : 中等症 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送します。

保留群(Ⅲ) : 軽症 医療救護所で応急処置を行います。

無呼吸(0) 医師が死亡診断した場合は、遺体安置所に搬送します。

⑤ 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入します。

トリアージ終了後、複写の1枚目を剥がし、回収かごに入れます。

トリアージタッグは、患者の右手首につけてください。(衣服には着けないでください。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)

医師の診察場所に案内します。

次に待っている傷病者のトリアージを行います。

※トリアージ後、重中等症者が含まれている場合、体育館ホール奥に移送します。

※トリアージの結果、歯科医療を要する場合、歯科医師が診察ブースまで案内し、そのまま診察と応急手当を行います。

3. その他

不明瞭なことがあれば災対健康部より指示を仰ぐこと。

(災害現場用)

No. 1-1	氏名 (Name) ネリマ タロウ	年齢 (Age) 30	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 12月 8日 AM 10時 20分		トリアージ実施者氏名 ネリマ ハナコ	
搬送機関名	収容医療機関名		
トリアージ実施場所 〇〇中学校			
トリアージ実施機関 練馬区救護班		医師 救急救命士 薬剤師 <u>その他</u>	
傷病名			
トリアージ区分 O I II <u>III</u>			

特記事項 (搬送・治療上特に留意すべき事項)

0/JSC、脈拍100回/分、呼吸20回/分、
CRT 1秒
かかとの痛み

その他の応急措置の状況等

前 後

医療救護活動の流れ

軽症者の場合

START法トリアージ・タグの作成

傷病者来所

傷病者
振り分け

トリアージ

診察

施術
調剤・投薬

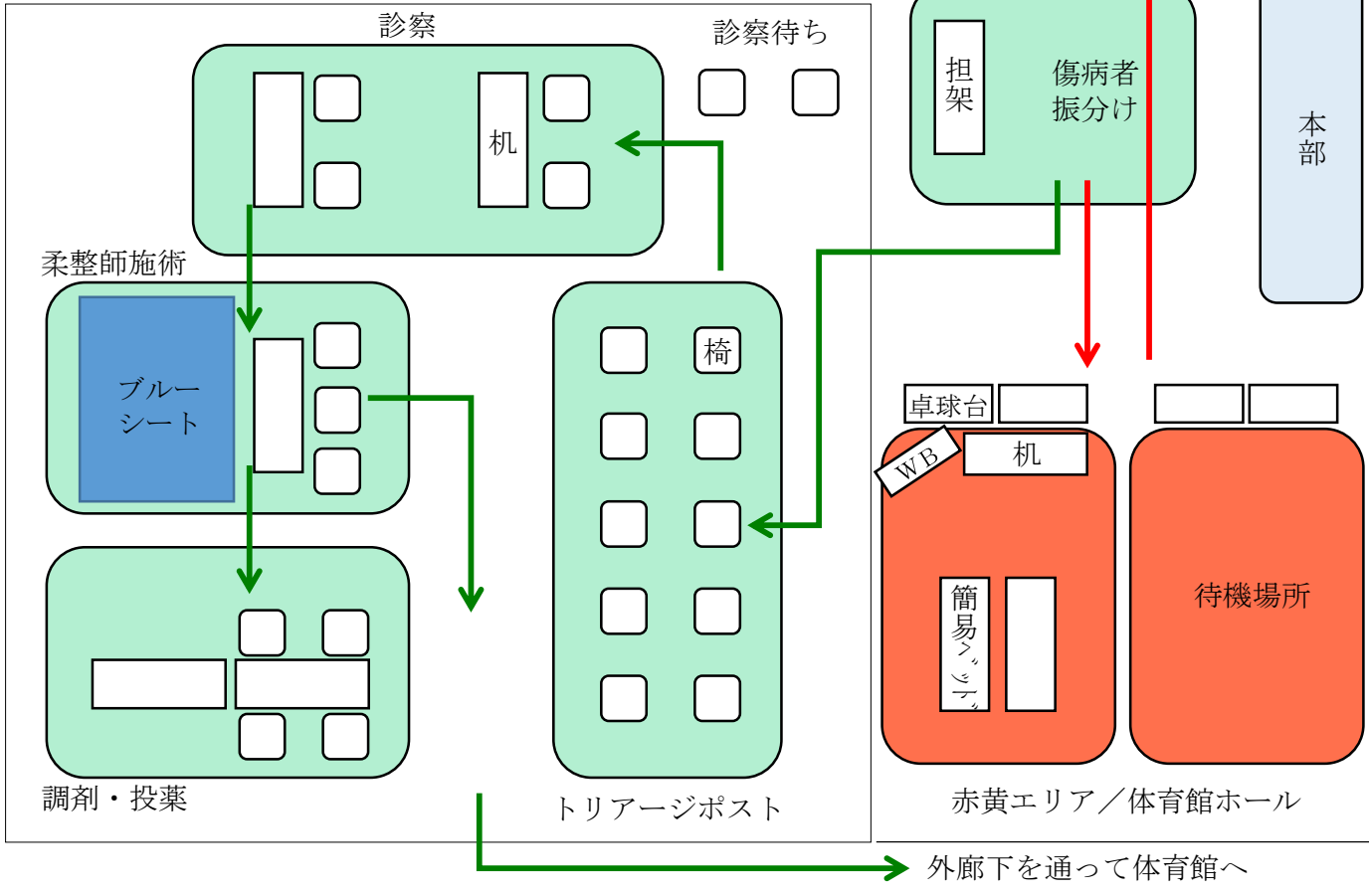
傷病者
帰宅

歩行の可否により振り分ける

備蓄資器材等で応急手当

各エリア配置図

緑エリア/武道場



トリアージ担当

副校長【
】
班長【
】
保健師【
】

Mission : タッグ起票、手当・搬送順位の決定

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (、看護師)	重症者処置エリア (体育館ホール)	トリアージ

1. 統括医からアクションカードを受け取ります。赤エリアの設営を行ってください。

- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営をします。
※レイアウトについては、必要に応じて変更しても構いません。

必要物品	保管場所
トリアージタッグ、ボールペン、エリア別表示	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
パイプ椅子	体育館

2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行います。

注1) 複数行記載できるように、各記入欄の上部で記載するなど配慮すること。

注2) 誤記訂正は、二重線でを行います。

注3) 容態変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の下側スペースに追記します。

- 移送された患者に対し、2名ペアで順番にSTART法トリアージ(トリアージカード参照)を行います。
(1名はトリアージ、1名はタッグ記入)

① タッグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入します。

※患者本人、家族に氏名、年齢、性別、住所、電話番号欄を記入してもらって構いません。

② トリアージ実施月日・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入します。

③ トリアージ実施機関は、「練馬区救護班」と記入します。職種欄は、その他に○をし、そばに職種(歯科医師、薬剤師等)を記入します。

④ トリアージ区分は、必ず○印をつけてください。

最優先治療群(Ⅰ) : 重症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送します。**待機的治療群(Ⅱ) : 中等症** 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送します。**保留群(Ⅲ) : 軽症** 医療救護所で応急処置を行います。**無呼吸(○)** 医師が死亡診断した場合は、遺体安置所に搬送します。

⑤ トリアージ区分と同じモギリ部分を残して切り離します。

⑥ 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入します。

- トリアージ終了後、複写の1枚目を剥がし、回収かごにいます。

- トリアージタッグは、患者の右手首につけてください。(衣服には着けないでください。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)

- 患者を医師に引き渡します。

- 次に待っている傷病者のトリアージを行います。

※トリアージ後、軽症者が含まれている場合、武道場に誘導します。

3. その他

- 不明瞭なことがあれば災対健康部より指示を仰ぐこと。

(災害現場用)

No. 1-1	氏名 (Name) ネリマ タロウ	年齢 (Age) 30	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 12月 8日 AM 10時 20分		トリアージ実施者氏名 ネリマ ハナコ	
搬送機関名		収容医療機関名	
トリアージ実施場所 〇〇中学校			
トリアージ実施機関 練馬区救護班		医師 救急救命士 薬剤師 <u>その他</u>	
傷病名			
トリアージ区分 O I II <u>III</u>			

特記事項 (搬送・治療上特に留意すべき事項)

0/JSC、脈拍100回/分、呼吸20回/分、
CRT 1秒
かかとの痛み

その他の応急措置の状況等

前 後

医療救護活動の流れ

重・中等症者の場合

START法 (PAT法) トリアージ. タグの作成. 搬送順位の決定

傷病者来所

傷病者
振分け

トリアージ

応急処置

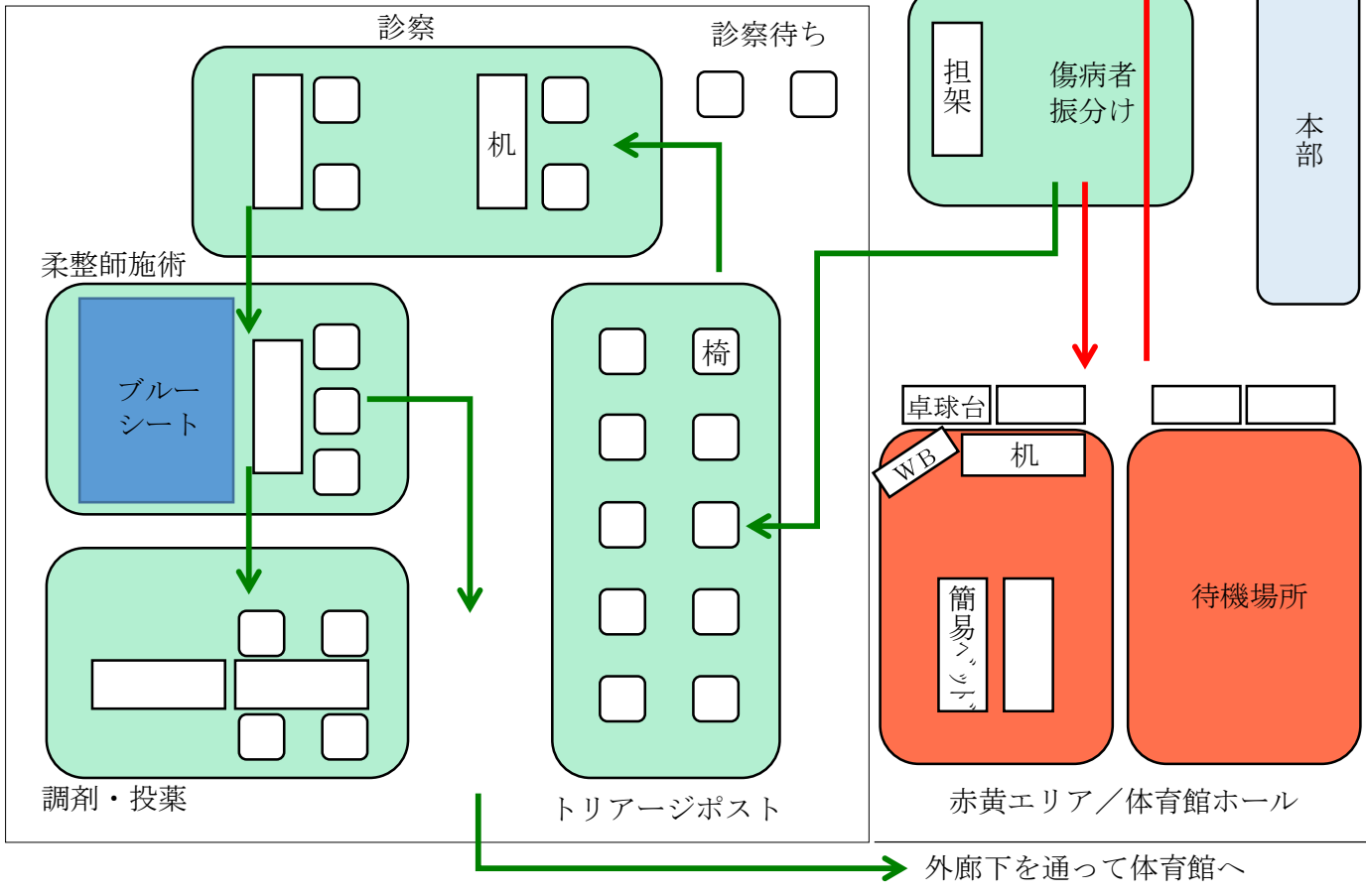
搬送調整
搬送準備

搬送

医療救護所本部および災対健康部で搬送先等の調整

各エリア配置図

緑エリア / 武道場



傷病者振り分け

副校長【
】
班長【
】
保健師【
】**Mission** : 歩行の可否で傷病者をふるい分ける

担当	活動場所	役割
避難拠点運営連絡会 または区・学校要員	体育館ホール入口付近	傷病者の振り分け

1. 班長からアクションカードを受け取ります。傷病者振り分け場所の設営を行ってください。

- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営をします。
- ※レイアウトについては、必要に応じて変更しても構いません。

必要物品	保管場所
担架、車いす、マスク、手袋、シーツ	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
パイプ椅子	体育館

2. 来所した傷病者を振り分けます。

- 歩行の可否により傷病者を2パターンに分け、案内・誘導します。
- 自力歩行ができる方は、軽症者処置エリア(武道場)へ案内します。また、自力歩行ができない方については、重症者処置エリアに移送します。
- 学校の敷地内および学校近辺で歩行ができない傷病者の情報があつた場合、区の職員を伴い、担架を持って現地に赴きます。近くに医療機関がある場合は、その医療機関に受入可否を確認し、受入ができない場合は、医療救護所へ搬送し、重症者処置エリアに引き継ぎます。

3. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行ってください。

- 活動中の注意点や懸念点を伝達します。

4. その他

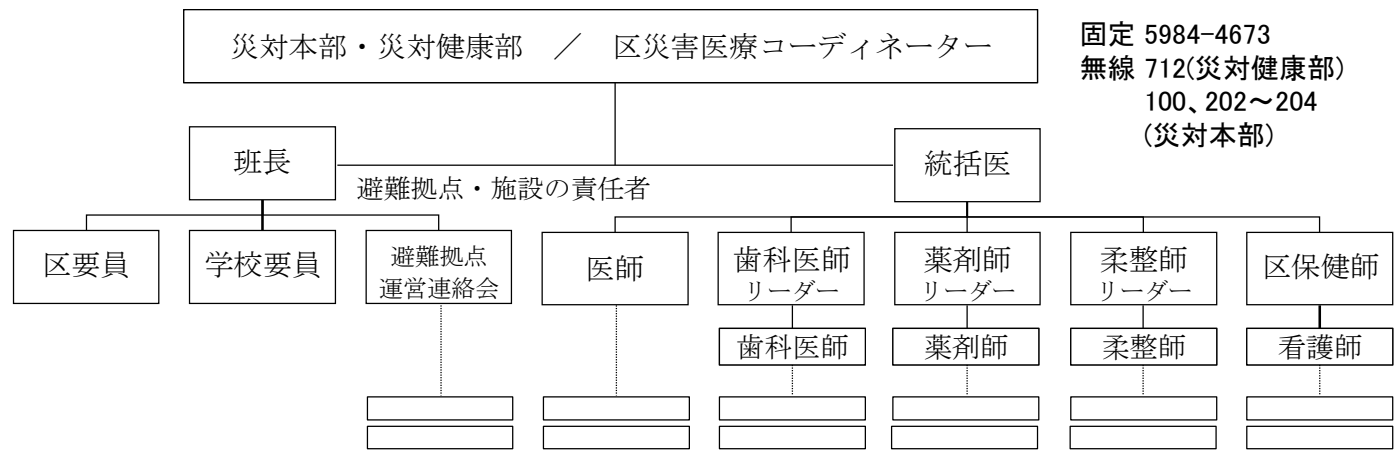
- 不明瞭なことがあれば班長や統括医、災対健康部に指示を仰ぐこと。

5. 担架について

- 折りたたんで格納されています。説明書を参照し組み立ててください。慣れれば数分で組み立てることができます。
- 使用する際は、上にシーツ等を掛けてください。
- 患者を一人で運べる担架を配備していますが、安全性を考慮し、二人で使用するようにしてください。
- タイヤがついている方に足を乗せてください。
- 乗せる際は、担架の中央に腰掛け、それから寝かせてください。中央以外に腰掛けるのは危険です。担架が傾き、落下する危険があります。

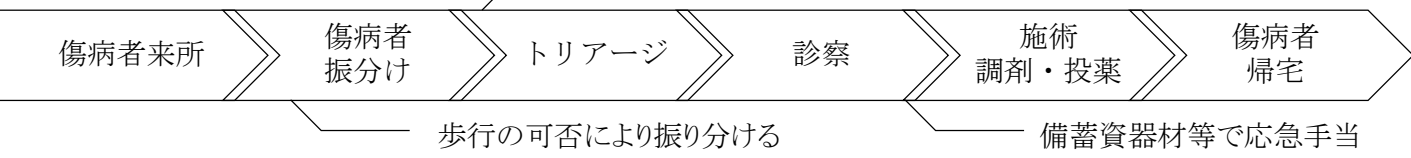


指揮命令系統図

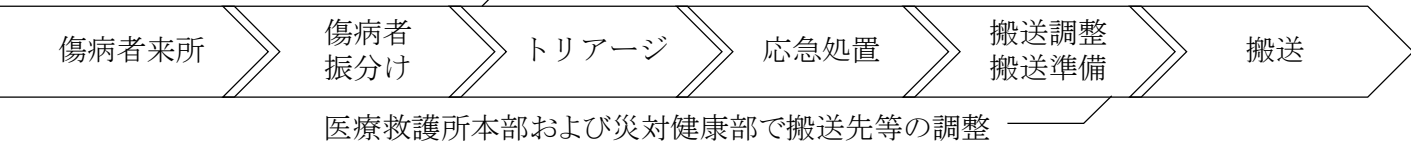


医療救護活動の流れ

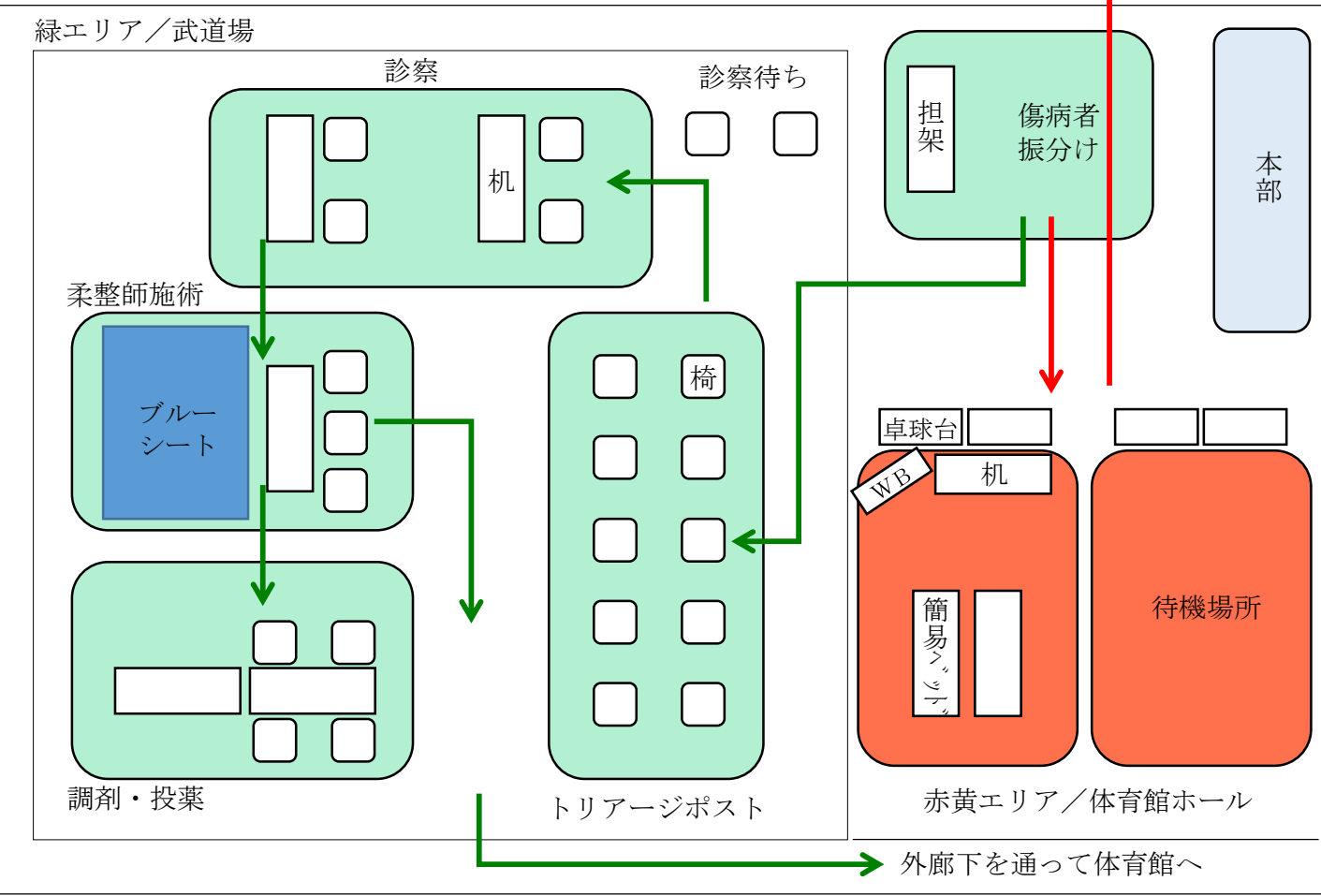
軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図



医療救護所本部

副校長【 】
 班 長【 】
 保健師【 】

Mission : 傷病者の来所状況の把握、クロノロジー作成

担当	活動場所	役割
区、学校要員	体育館ホール	医療救護所本部機能

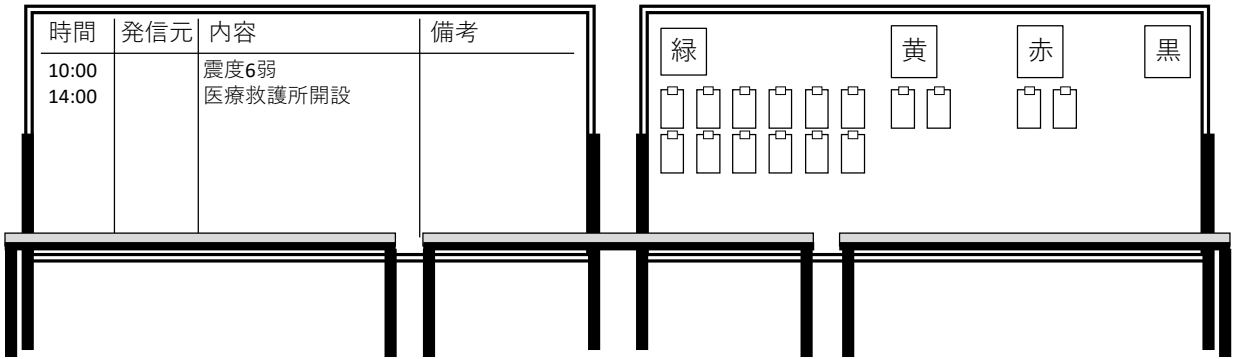
1. 班長からアクションカードを受け取ります。医療救護所本部の設営を行ってください。

- 裏面の [各エリア配置図] を参考に、以下の物品の搬出と設営をします。
 ※レイアウトについては、必要に応じて変更しても構いません。

必要物品	保管場所
マニュアル、ビブス、各種帳票、ボールペン、エリア別表示	医療救護所倉庫 (新館玄関付近防災倉庫内)
長机	体育館玄関横 (または校舎棟2階会議室)
パイプ椅子	体育館
ホワイトボード、マーカー	体育館ホワイエ

2. クロノロジーの作成を開始します。

出来事や情報を時系列に沿って、ホワイトボードに書き出します。



3. トリアージタグを回収し、傷病者の来所状況を把握します。

- 軽症者処置エリアと重症者処置エリアにトリアージタグの1枚目および本体を置くためのかごや箱を用意します。
- 適宜、トリアージタグの1枚目および本体を回収します。
- トリアージの際に、剥がし取られるトリアージタグの1枚目（災害現場用）の内容を傷病者受付一覧に転記し、傷病者の受付と把握をします。転記が終了したトリアージタグの1枚目は、ホワイトボード等に貼付します。
- 手当が完了した後、軽症者はトリアージタグ本体と、また重中等症者は搬送者カードと、それぞれ転記した傷病者受付一覧を照合し、一覧の消込みをします。それにより、傷病者の手当の状況を把握します。
- 消込みが完了したら、貼付されたトリアージタグの1枚目とトリアージタグ本体または搬送者カードをひとまとめにして保管します。

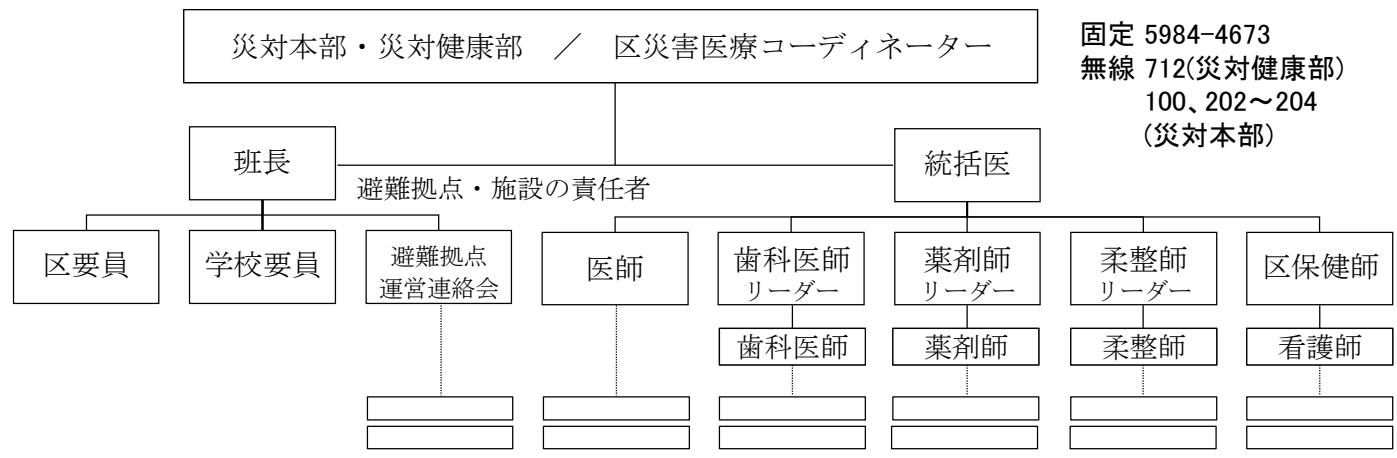
4. 災対健康部から取得した医療機関情報を掲示します。

- 災対健康部から伝達された医療機関の被災状況や稼働状況を掲示します。
- 透析患者が訪ねてきた場合、透析医療機関の稼働状況を案内します。医療機関に連絡する際、携帯電話等の所持している通信手段が使用できない場合は、避難拠点の優先電話で代理通話をします。

5. その他

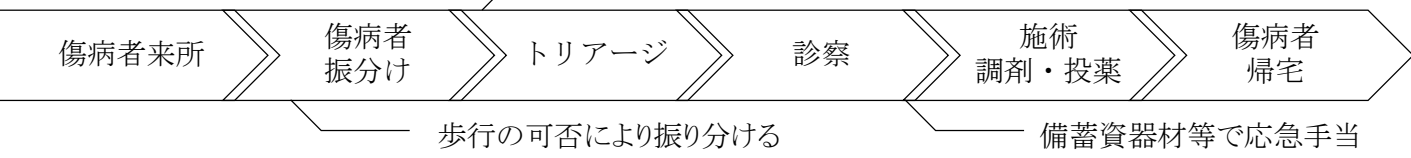
- 不明瞭なことがあれば災対健康部より指示を仰ぐこと。

指揮命令系統図

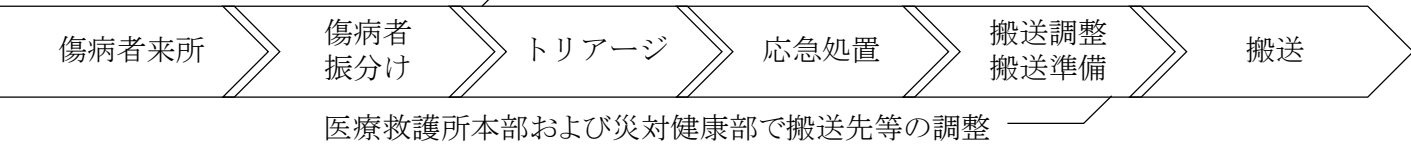


医療救護活動の流れ

軽症者の場合



重・中等症者の場合



各エリア配置図

